

青嶺

Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

今年もたくさん

ありがとう！

二学期最後の朝はあいにくの雨模様でしたが、みんないつも以上に早い時間に登校し、いつも以上の笑顔で、いつも以上に元気な様子でした。やはり冬休みは特別なのでしょうか。朝から元気をもらい本当に「ありがとう」です。

終業式では、自分自身の成長を振り返るという話をしました。やや長かったですが、みんな集中して真剣に耳を傾けてくれ本当に「ありがとう」です。

続いて行われた生徒会役員任命式では、旧役員の感謝の言葉、新役員の決意表明と皆堂々と自分の思いを語り、聞いている方も真剣に受け止めました。そんな雰囲気を生徒と職員みんなで創り出せることに本当に「ありがとう」です。
来年もお互いがたくさん「ありがとう」を感じる学校にしていきたいですね。

二学期終業式式辞

今日で長かった二学期が終わります。次に皆さんと会うのは令和8年です。

今年を振り返ると、4月には多くの先生方が転任され、新しい顔ぶれでスタートしました。体育大会は平日に開催され、この夏は観測史上最も暑い夏となりました。黒川小学校・波多津小学校と三校合同で実施した「はたらく人プロジェクト」は2回目を迎え、多くの企業や団体で活躍されている方々から直接お話を伺う貴重な体験ができました。そして先日12月5日には研究公開が行われ、来校者の参観の中で公開授業を実施しました。

こうした様々な行事や取り組みを通して、自分に問いかけてみてください。「自分は成長できた」と胸を張って言えますか？

これまでできていたことが、よりスムーズに、見通しをもつてできるようになったなら、それは成長の証です。逆に、少し気を抜いてできなかったと感じるなら、まずはそのことに気づ

きましょう。そして、なぜできなかったのか原因を考え、改善するための具体的な手立てを実行してください。「足踏み」は次の成長への準備段階です。集団としてはどうでしょうか？ クラスや部活動で成長を感じられましたか？ 明るく元気な雰囲気、切り替えができてメリハリのある集団は、その良い空気がみんなに伝わり、前向きになります。逆に、文句や不満ばかりを口に、「楽しくない」「なんでしなきゃならないの？」「と負のオーラを出しているたら、それは蔓延し、集団全体を覆ってしまいます。

所属する集団次第で自分の本来の力を思い出すノミの話を思い出してください。みんなで成長するには誰かにコントロールしてもらうのではなく、自分たち自身で集団の質を上げていくしかありません。中学生は大人への入り口です。いま何をやるべきか、やってはいけないのか正しく判断し、行動できる集団の力を磨いていきましょう。皆さんならきつとそれができると信じています。

さて、授業でも学校生活でも「対話」について先生方が繰り返し話をしていると思います。対話は自分と人との違いを認識すること、自覚することから始まります。違う見方や考え方、価値観をもつ人同士が、完全に分かり合うのは難しいです。だ

からこそ、なぜその人がそう考えるのか？どんな意味で発言したのか？を興味や関心をもってよく聞き、考え、その背景を想像し、そして尊重してください。

他者から学ぶことは大きいですが、他者を通してしか成長はありません。どうか、対話することを諦めないで下さい。近年、若者のSNSを禁止する国が増えてきました。いじめや犯罪が抑制できないからという理由です。ですが本当にそんな世の中でいいのでしょうか？ 禁止されるよりも自分たちで考えをめぐらし、出来ることがあると私は思います。

皆さんが授業や学校生活で勉強したこと、考えたことはきちんと向き合って、実行に移してこそ意味を持ちます。学ぶことで昨日の自分から少し前進し、成長するのです。

確かでないうわさ話や、本当かどうか分からない悪口を、何も考えずに広めることは本当に愚かな行為です。そのような行為の行き着く先は、いじめ、対立、憎しみ合いで、最終的には戦争になっていきます。世の中で争いや戦争をなくすために対話を学び、メディアリテラシーを学び、そして想像力を養うのです。それは人間にしかできません。豊かな「対話」を通して豊かな想像力を磨いていきましょう。冬休みには普段会えない人と会ったり、普段できない体験をしたりする機会があるかもしれません。その中で対話や体験

を通じて少し成長した皆さんと、また来年会えることを楽しみにしています。

自然災害など思わぬ出来事に遭遇し、危険な目に合わないとも限りません。そんな時はパニックにならず冷静に自分や大事な人を守る行動をとって下さい。皆さんどうかお元気で。そして素晴らしい冬休みを過ごしてください。

校長室より

伊万里で働くようになって三年目の二学期が終わりました。地域の行事や会合などに参加した時も最初は全然知らない人ばかりでしたが、次第に顔見知りが増え、温かく迎え入れてくださり本当にありがたく感じています。

二回の卒業式で子ども達を送り出し、二回の入学式で子ども達を迎え入れました。その年ごとに、それぞれの個性をもった学年集団を形成し、成長の度合いは様々ですが良い持ち味を活かし、学校の活動に貢献してくれています。それぞれ価値観の違いでぶつかることも成長の過程で必要な事だと思っています。子ども達が困難を自分の力で乗り越えて、自分の足でたくましく歩んで行けるようにこれまで同様に精一杯関わっていきま

すので、今後どうぞよろしくお願いいたします。
二年続けて雪での休校に見舞われましたがこの冬はまだその兆候は見られません。このまま暖かい冬であればいいなあと願っています。